



当社の経営状況と2008年度経営方針

「顧客価値共創サービスを提供するGlobal Toyo」

2008年5月14日

 東洋エンジニアリング株式会社

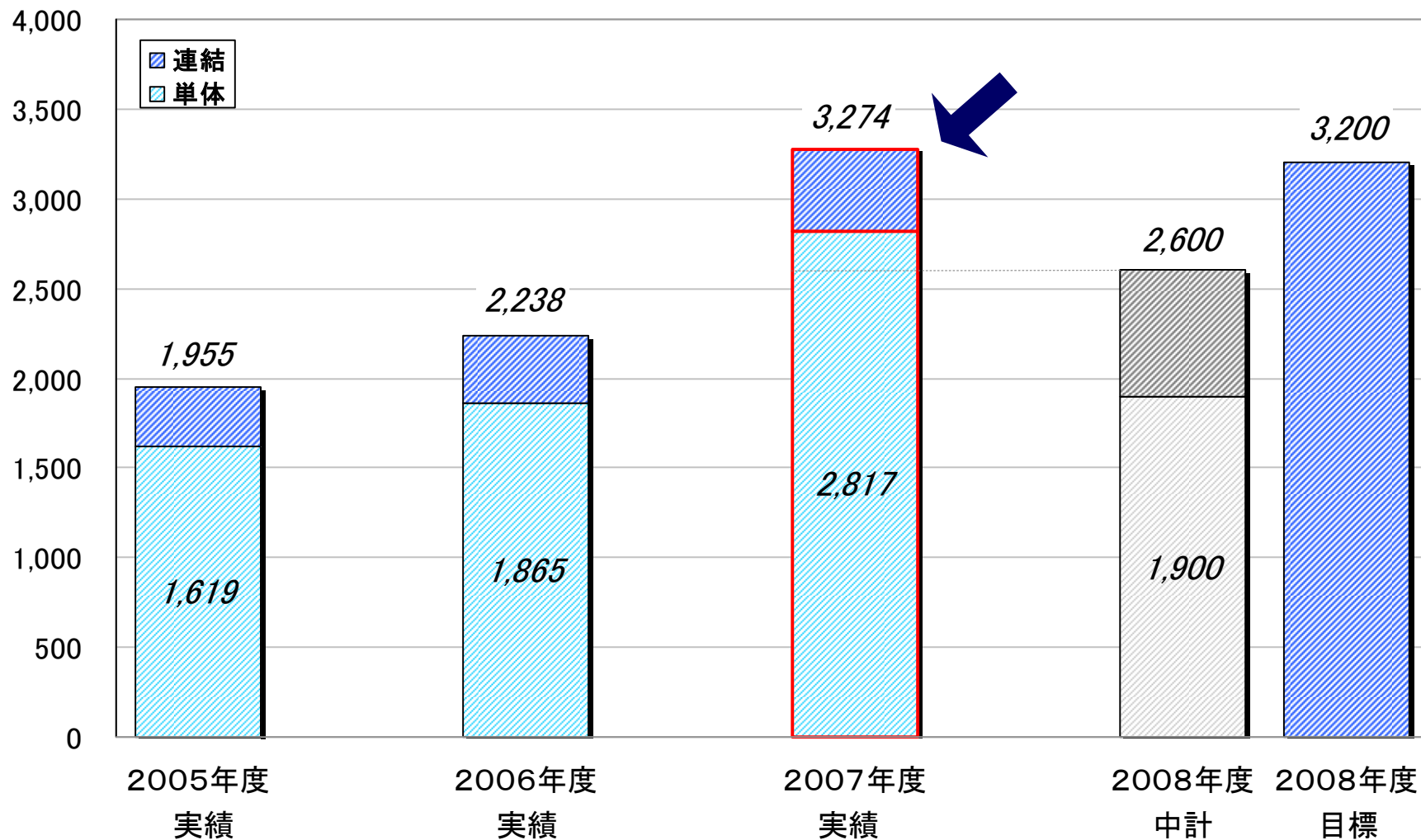
取締役社長 山田 豊

1. 現中計は前倒し達成 ～ 2007年度の振り返り
2. プラント市場の動向
3. 受注状況および新規分野開拓
4. リンバース型業務への進化
5. 2008年度収支目標と経営課題

1. **現中計は前倒し達成 ～ 2007年度の振り返り**
2. プラント市場の動向
3. 受注状況および新規分野開拓
4. リンバース型業務への進化
5. 2008年度収支目標と経営課題

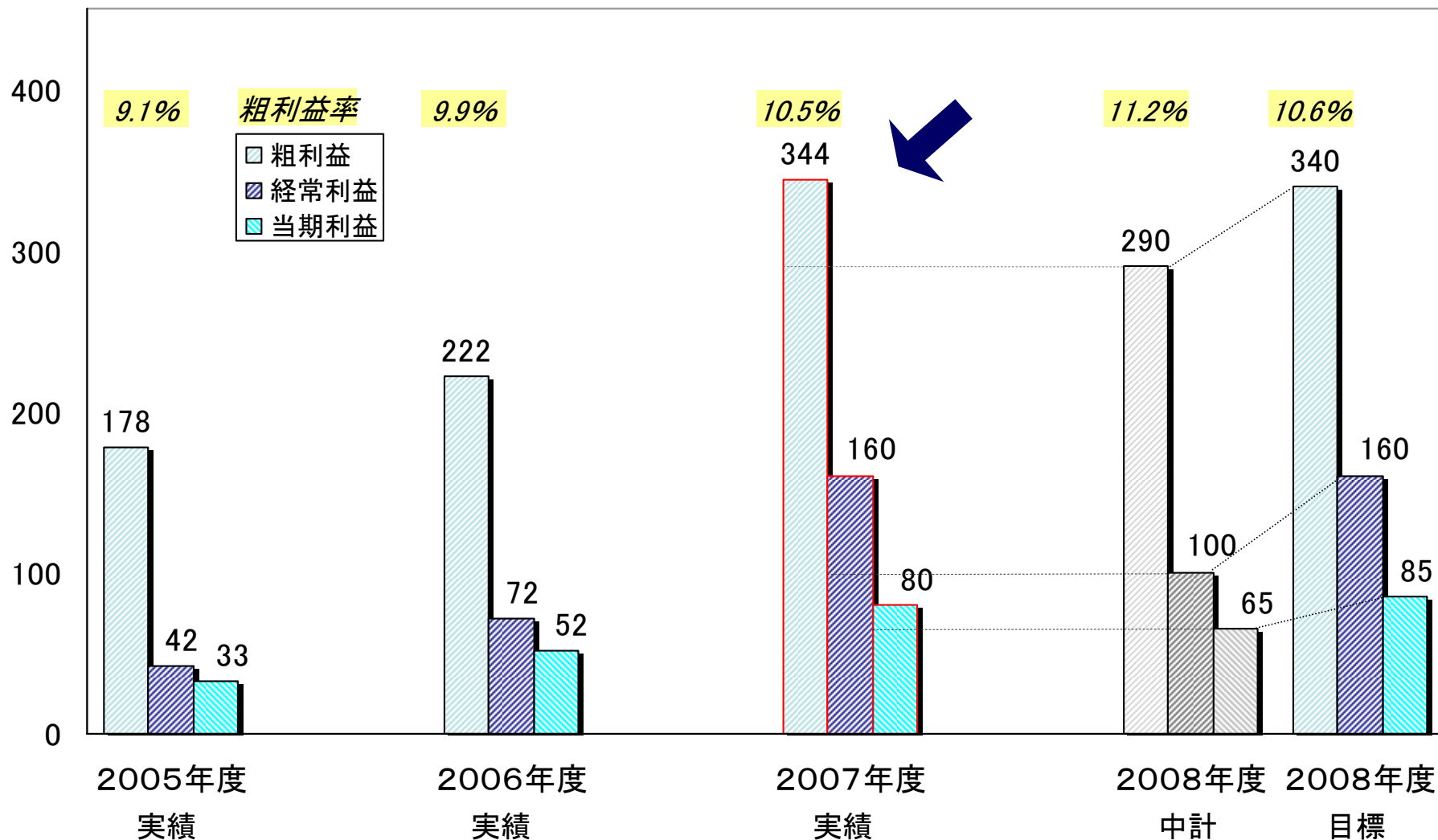
1.1 売上：既受注案件進捗により中計目標を1年前倒しで達成

売上(億円)

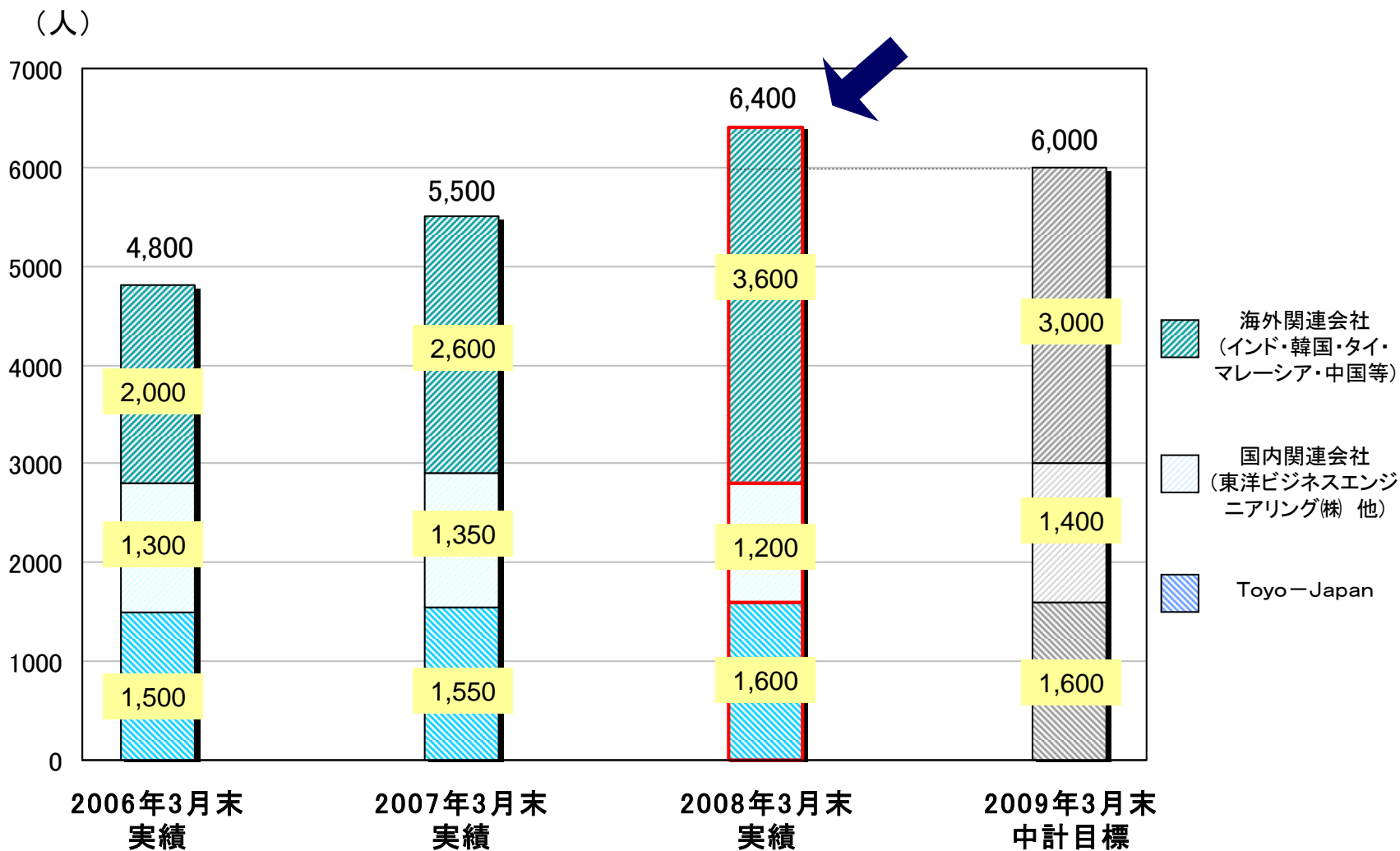


1.2 利益：戦略的受注とプロジェクト管理徹底により中計を1年前倒しで達成

連結利益（億円）



1.3 要員数 : Global Toyo要員数は拡大



1. 現中計は前倒し達成 ～ 2007年度の振り返り
2. **プラント市場の動向**
3. 受注状況および新規分野開拓
4. リンバース型業務への進化
5. 2008年度収支目標と経営課題

2.1 プラント市場は堅調傾向維持

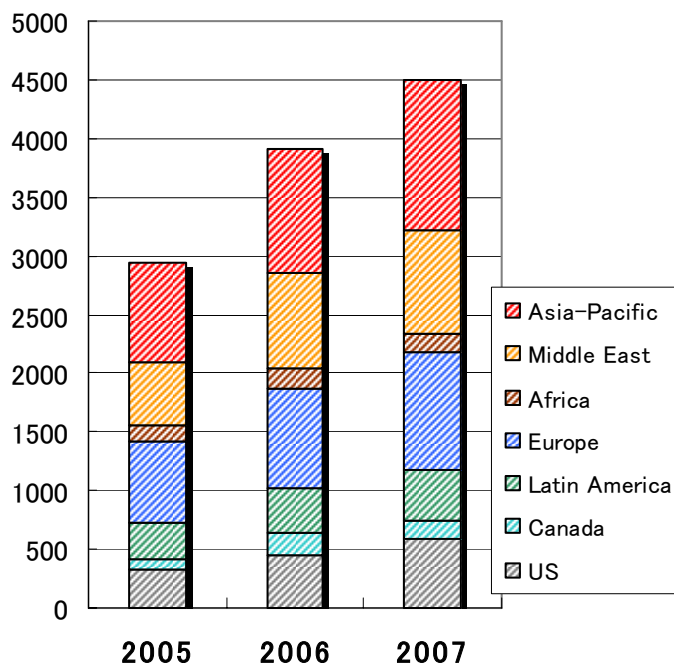
◆ 堅調の背景

- 石油・ガス価格高騰による産油・産ガス国好況の持続
- エネルギー源の多様化と転換需要
- BRICs、その他新興国の市場としての成長
- 環境対策関連案件の増加

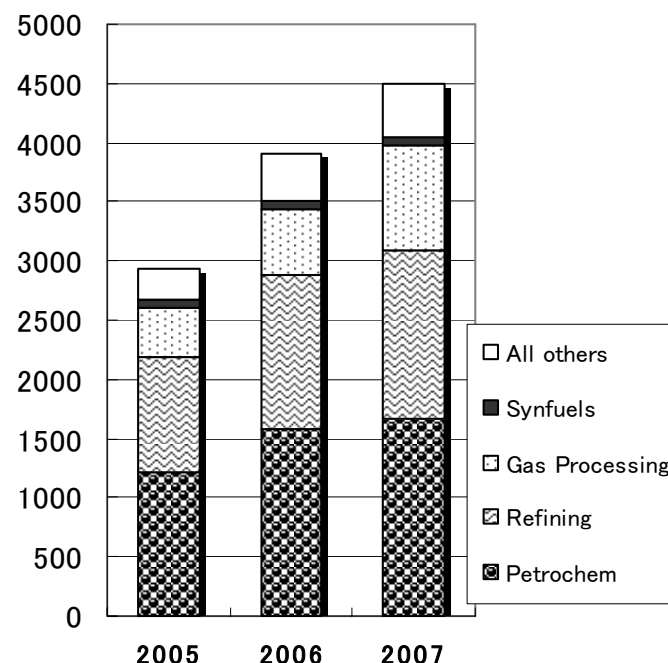
【懸念要因】

- 世界経済の不透明化とドル安
- 建設費高継続
- 機器資材の長納期化・人材リソース不足の継続
- 資源ナショナリズムの台頭
- 中進国コントラクターの追い上げ

世界のプロジェクト件数



商品別プロジェクト件数(世界)



2.2 マーケットの潮流

◆Upstream投資◆

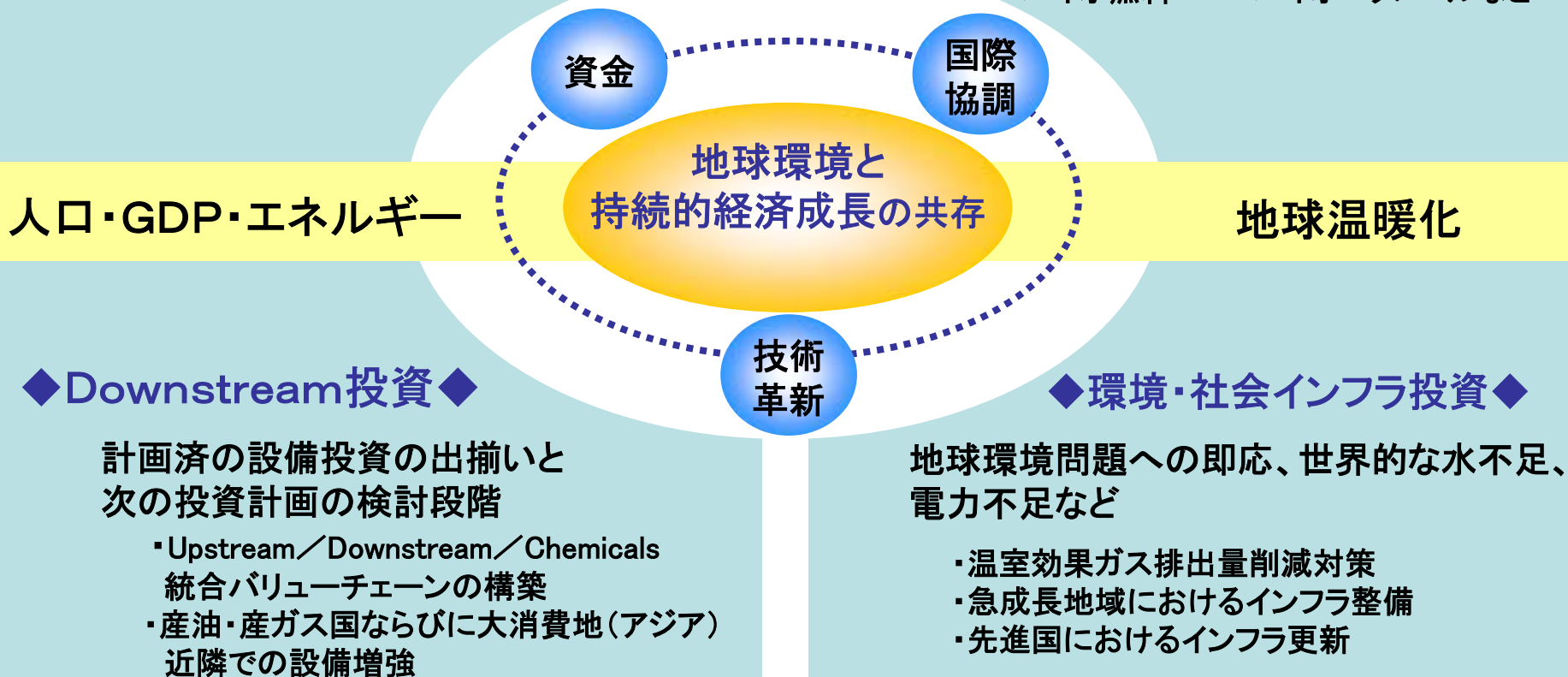
資源開発など中長期投資は積極的に継続

- ・既存油田・ガス田の回収率向上
- ・採掘における技術革新

◆エネルギー・ポートフォリオへの投資◆

石油代替燃料開発

- ・非在来型石油
 - ・合成液体燃料
 - ・バイオ燃料
- オイルサンド・タール
GTL、DME、石炭など
バイオエタノールなど



1. 現中計は前倒し達成 ～ 2007年度の振り返り
2. プラント市場の動向
- 3. 受注状況および新規分野開拓**
4. リンバース型業務への進化
5. 2008年度収支目標と経営課題

3.1 2007年度受注ポートフォリオ実績

商 品

ガス処理

石油精製

石油精製

石油化学

肥料

顧客支援サービス

地 域 および 案 件

【ブラジル】 ブラジル石油公社向けガス処理設備拡張工事

【韓国】 S-Oil社向け石油精製設備FEED

【日本】 太陽石油(株)向け分解ガソリン脱硫装置他建設工事

【インドネシア】 プルタミナ社向けプロピレン増産設備

【ベネズエラ】 ベネズエラ石油化学公社向け尿素プラント

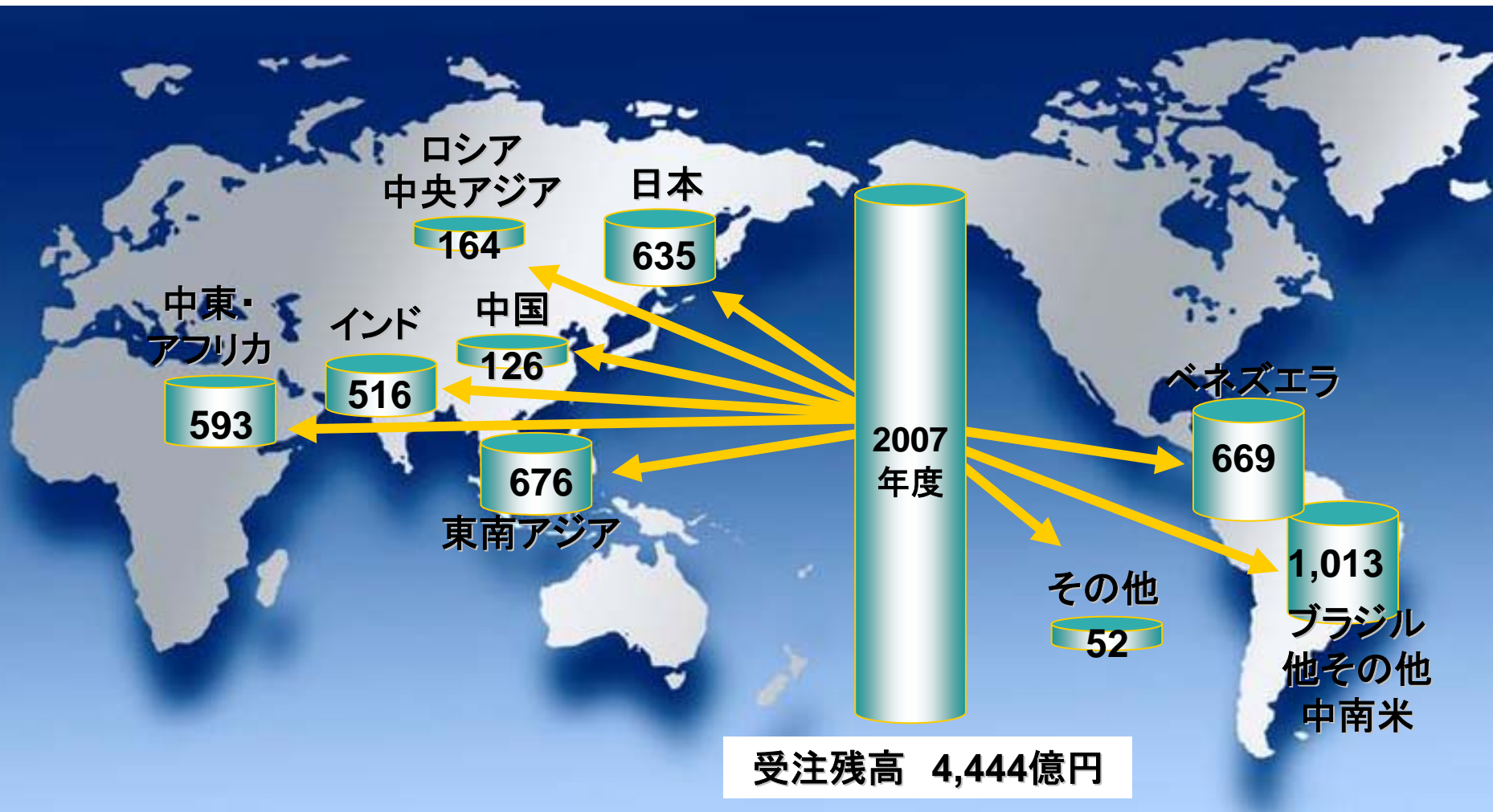
【日本】 設備保全管理最適化・定修工事管理業務

- ◆ 当初受注戦略通り、商品、地域をバランス良く受注
- ◆ 引き続き、受注ポートフォリオのバランスに留意

3.2 地域別受注残

2008年3月期

(単位:億円)



3.3 新規分野の開拓 ～ マーケットの潮流を見据えて

◆ Upstream分野

- 資源開発： 既存ガス田の回収率向上・技術支援等
- FPSO (Floating Production, Storage and Offloading) 設備：
実績オーストラリア2件



◆ 代替エネルギー分野

- GTL (Gas to Liquid)： カタールGTL関連設備 建設中
- DME (Dimethyl Ether)： 中国で世界最大のプラント完成



◆ 環境分野

- 小型GTL： 石油随伴ガスを利用した船上GTL開発
- N₂O CDM： 中国硝酸プラントN₂O削減
Clean Development Mechanismプロジェクトへの参加
- CCS： Carbon Capture & Storage 技術開発への参画



◆ 社会インフラ分野

- 水・交通・発電： 商社等アライアンスパートナーとの連携

1. 現中計は前倒し達成 ～ 2007年度の振り返り
2. プラント市場の動向
3. 受注状況および新規分野開拓
4. **リンバース型業務への進化**
5. 2008年度収支目標と経営課題

4.1 リンバース型業務とは

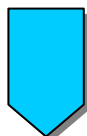
リンバース型業務とは

業務範囲: Project Definition、ライセンス、FS、FEED*、EPsCm、コンサルティング

*FEED: Front End Engineering Design

対価: Cost Reimburse + Fee + Incentive方式など

プロジェクト参画



プロジェクト
定義

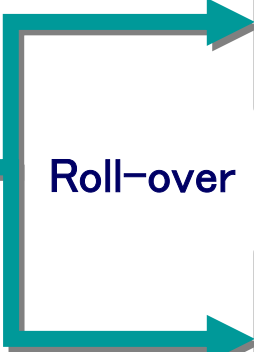
- ・技術選定
- ・基本仕様決定
⇒プロジェクト
グランドデザイン

FEED
サービス

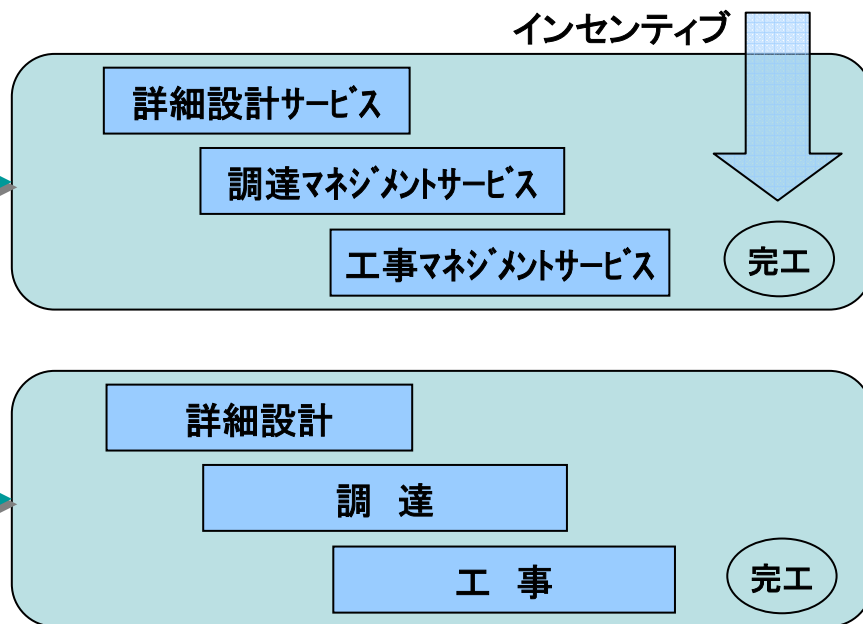
- ・基本設計
- ・プロジェクト予算確定
- ・長納期品
先行発注支援

Roll-over

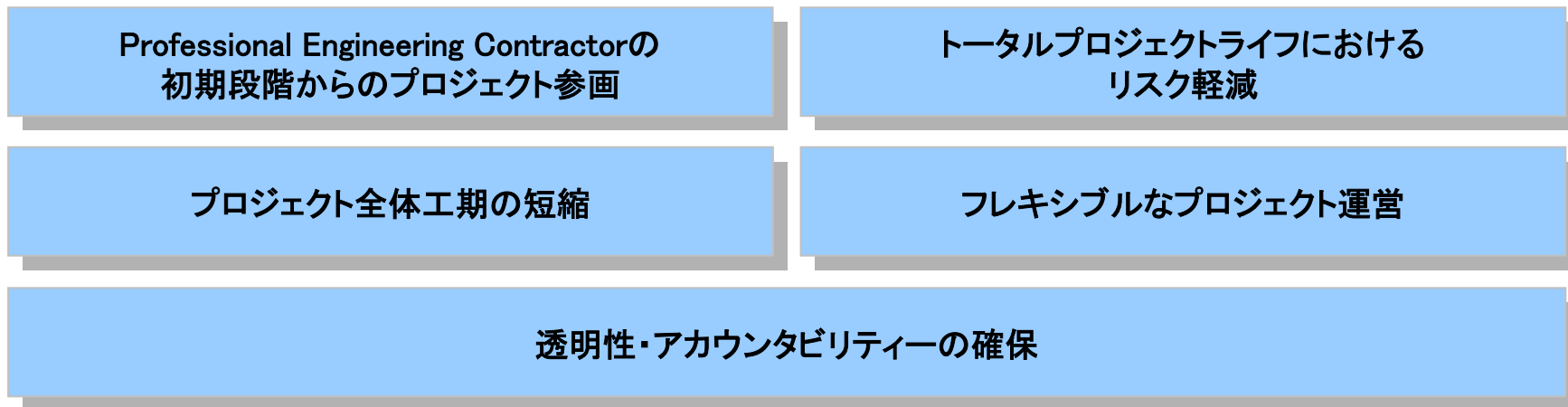
EPsCm



EPCランプサム



4.2 リンバース型業務の顧客側のメリット



EPsCm コスト・リンバース型



EPC ランプサム型



4.3 リンバース型業務の当社意義

顧客との関係強化と顧客満足の獲得

◇計画初期段階からのパートナーシップ構築

プロフェッショナルリティの強化による差別化

低リスクでの利益確保による業績安定化への寄与

受注ポートフォリオ方針

「海外EPCランプサム型」：「海外リンバース型＋国内事業分野」

50:50

(利益ベース)

1. 現中計は前倒し達成 ～ 2007年度の振り返り
2. プラント市場の動向
3. 受注状況および新規分野開拓
4. リンバース型業務への進化
5. **2008年度収支目標と経営課題**

5.1 2008年度收支目標(連結)

(単位:億円)

	<u>2007年度実績</u>	<u>2008年度目標</u>	↔	<u>中計3年次目標</u> (2008年度)
完成工事高	3,274	3,200	↔	2,600
粗利益	344 (10.5%)	340 (10.6%)	↔	290 (11.2%)
経常利益	160 (4.9%)	160 (5.0%)	↔	100 (3.8%)
当期利益	80 (2.5%)	85 (2.7%)	↔	65 (2.5%)
受注高	2,686	2,700		

5.2 2008年度の経営課題

今年度経営課題

手持ちプロジェクトの確実な履行による収益計上

◇プロジェクト管理の徹底継続

バランスを重視した受注の確保

◇地域、商品、契約形態のポートフォリオを継続重視

変革の実践

◇新規分野開拓(社会インフラ分野, 顧客支援サービス等)と技術基盤強化

◇高度サービス型業務遂行力の強化

◇Global Toyo体制の強化継続

並行して、次期中期経営計画の策定



【お問い合わせ先】

 **東洋エンジニアリング株式会社**

URL <http://www.toyo-eng.co.jp>

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

経営統括本部 IRマネージャー 宮脇邦彦

電話 047-454-1167

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。